



1月8日、成人式で式辞を述べる栗市長

ごあいさつ

平成29年2月3日

2月に入りました。節分、立春と続き、春の気配が近づいてきているのですが、まだまだ寒い日が続いています。寒くなったり、暖くなったりを繰り返しながら、本当の春がやってきます。

1日、北西部土地区画整理地内の町名変更が行われました。区画整理事業は単に基盤整備をするだけではありません。これからその地域で生活される皆さんが、いかに良い環境で生活していくことになるかということが大切です。北西部土地区画整理事業は経済的にも大変厳しい時期に取り組んでいただき、ご苦労も多かったことと思います。市の方でもこの区画整理事業では、子育て支援という部分を盛り込み、それにあわせて、活動や憩いの場となるような「つばきの郷公園」といった市内でも大きな公園を設置いたしました。

現在、他にも区画整理事業を進めていますが、地域が違えば、当然のことながらそれぞれの特徴があります。西部中央土地区画整理地内は中央公園に隣接していることもあり、健康がテーマになるイメージで進めていければと思っていますし、中林土地区画整理地内は石川県立大学が周辺にあることから、大学を活かしたまちづくりを考えていきたいと思っています。

今月25日には、北西部土地区画整理事業の完工記念式典が行われます。基盤整備は完了いたしました、この地域の市民の皆さんのお気持ちが、まちづくりに息を吹き込むこととなります。これからがスタートです。

いよいよ「第27回全国椿サミット野々市大会」が来月に迫ってきました。市役所前には懸垂幕が掲げられ、庁舎の中には、朱鷺色ののぼり旗が立てられています。

年があらたまり、それぞれの町内会から新年会へお招きをいただき市民の皆さんと直にお話をさせていただく機会があります。そのようなときに、以前だと町内会で抱えている問題や、要望などをうかがうことが多かったのですが、このところ少し雰囲気が変わってきました。「今度の椿サミットで自分が何かできることはないのか」と、市の行事に対し、どのように関わればいいのかということをお問われることが多くなりました。これまで進めてきた「市民協働のまちづくり」が少なからず多くの市民の皆さんのなかに浸透し、ご理解いただいているという気がします。

職員はもとより、さまざまな団体の皆さんのご協力もいただき、順調に準備は進んでいます。中央公園には「愛と花のギャラリー ののいち椿館」もほぼ出来上がり、ここにお越しいただければ「椿」についてさまざまなことがわかるようになっています。椿サミットの後もいつでもお越しいただける、野々市の新しい名所になることと思います。

全国から椿サミットに、お運びいただくお客様をはじめ、近隣の市町からも多くの方々がお越しになるとおもいます。なによりも、野々市にお住まいの市民の皆さんにこの会場にお越しいただき、楽しんでいただきたい、賑わっていただきたい、自分たちの住む野々市が全国に発信できる「誇れるまち」であることを感じていただきたいのです。

「椿サミット野々市大会」は会場での市民の皆さんの笑顔が「最高のおもてなし」です。笑顔がさらに笑顔を呼び、心も温かくなります。春は、近くまで来ています。